

あなたと議会をむすぶ

議会広報

平成24年8月
第131号

あじがさわ

発行…青森県鰹ヶ沢町議会 〒038-2792 青森県鰹ヶ沢町本町209-2 編集…議会広報編集委員会 ☎0173②2111(代)

この広報は再生紙を使い、議員の自主編集で発行しています。



涼しげな浴衣に身を包み華麗な舞いを披露 (鰹ヶ沢高校流し踊り審査会 7月14日海浜公園で行われたあじがサマー海まつりの一コマ)

6月議会
定例会号

- 2 改選後初の定例会開催
- 3 総括質疑
町村議会議員研修会
- 4～7 一般質問 (4議員)
- 8 まち再生のためにーこの人に聞くー

改選後 初の定例会開催



6月12日の一般質問には多くの方が傍聴に訪れました。

平成二十四年第二回定例会(六月議会)が、六月八日から六月十四日までの日程で開かれ、八日には一般質問が行われ、鶴田議員、齋藤議員、長谷川議員、一戸議員の四名が諸問題について町側の答弁を求めました。最終日の十四日には、討論・採決が行われ、平成二十四年度町一般会計補正予算など議案十件、報告四件がいずれも原案どおり全会一致で可決、同意、承認されました。

平成二十四年度町一般会計補正予算 防災関連事業に四千二十五万円

六月定例会で提案された主な議案及びその内容は、次のとおりです。

■町固定資産評価審査委員会委員の選任について

委員の任期満了に伴い安田正美氏(日照田町)を再任。

※固定資産評価審査委員会とは

市町村に置かれる行政委員会。固定資産税の納税者は、固定資産課税台帳に登録された内容(価格)に不服がある場合は、同委員会に審査の申し出をすることができます。委員は、市町村長とは独立した中立的、専門的な立場から不服の審査などを行います。

■平成二十四年度町一般会計補正予算(第二号)

歳入歳出それぞれ五千五十二万四千円を追加し、歳入歳出予算の総額

を六十七億二千五十二万四千円としたもの。

主な補正額(歳出)は、次のとおりです。

○防災行政無線親卓等改修事業

三千六百三十万円

※役場庁舎内にある防災行政無線親卓が老朽化したことによる設備入れ替え

え。財源は、防災行政無線整備事業債。

○防災拠点整備事業

三百九十五万円

※太陽光発電装置設計業務委託料及び屋外街路灯整備事業(工事請負費)。財源は、再生可能エネルギー等導入推進事業費補助金(一億円を上限に全額補助)。

額補助)。

○室内温水プール修繕料

七百七十万円

※室内温水プールの屋根及びトレーニング室の天井修繕。財源の二分の一は建物共済。

■専決第8号 平成二十四年度町一般会計補正予算(第一号)

平成二十三年度町一般会計予算の歳入が歳出に對して不足する見込みとなったことから平成二十四年度の歳入を繰り上げて充てることにしたものの。

補正内容は、歳入歳出それぞれ二億円を追加し、歳入歳出予算の総額を六十六億七千万円としたものです。

※平成二十三年度予算は、専決時点において二億円の不足(赤字)が生じたこととなります。



防災行政無線親局 防災無線整備事業債(債とは借金のこと)を利用して設備入れ替えをします。

総括質疑

消防署庁舎の移転は 〈答 早急の移転に努力〉

総括質疑が六月十三日に行われ、防災関連の補正予算に関連し、議員から町に対していくつかの質問がありました。その質疑の一部を抜粋してお知らせします。

齋藤孝夫議員 鱒ヶ沢町

第五次総合計画の中で、防災対策について官公庁施設などの機能を集約し、災害に強い新たなまちづくりをするというようになことが書かれています。

わが町の消防署も老朽化し、3・11のようなことがあれば機能を失うのではないかと不安があります。消防署庁舎についてどのような考えでいるのか、方針をお聞かせください。

東條町長 私も消防署は一刻も早く移転しなければならぬという考えです。いろいろなところへ補助がないか当たっています。補助がないという点で、今移設するとなると全部町の持ち出しになります。そうすると予算は、八億から十億かかると思われますので、ここの二年は無理なのではないかと考えています。



築45年で老朽化が進む消防署

いずれにしても常に国のほうに補助をお願いしていきます。できれば高

台のほうに移転したいという考えであります。財政とも協議して早急に検討していきたいと思っております。

齋藤孝夫議員 避難場所になつていける学校などに災害時に使うものを準備しているものですか。

総務課長 今回の補正予算で防災拠点整備事業を計上しています。事業内容は、国のほうでCO₂削減の政策として、再生可能エネルギーを導入する地方公共団体を支援する

今回の補正内容は、基本設計及び太陽光発電の照明灯二機を、庁舎前に設置することを予定したものとなっています。

総括質疑とは

質疑とは、提案された議案に対し、賛否の態度決定が可能となるよう質問や不明な点を問う発言を言います。自分の意見を述べることはできませんが、自分の見解を述べないまで禁止していません。

総括質疑とは、提案された全議案に対し質疑を行う方法です。

町村議会議員研修会 8名が参加



講演に聞き入る参加した議員

青森県町村議会議長会主催による県下町村議会議員研修会が、七月十二日、青森市民ホールで開催され、議員八名が参加しました。

この研修会は、毎年開催されているものです。今年も、時事通信社解説委員である田崎史郎氏が講師を務め「これか



講演を行う田崎史郎氏

らの政局・政治のゆくえ」と題し講演を行いました。

報道番組のコメンテーターなど多数のテレビ番組に出演している田崎氏は、民主党代表、自民党総裁選挙のゆくえ、衆議院の解散の時期、また、選挙になった場合の小沢新党、大阪維新の会など各党の当落予想数などのほか、ニュースキャスターの癖などテレビ番組出演時の裏話を、ユーモアを交えながら話していました。

参加した議員は、田崎氏の講演に熱心に耳を傾けていました。



鶴田 悦子議員

RI事業の今後の考えは

問・三月議会の答弁で、低レベル放射性廃棄物最終処分地の事業は、全国で考えるべき問題であると話されていましたが、まったくそのとおりであります。今後は、この答弁のとおり考えにぶれないかお聞きします。

答弁・港湾地域振興室長 町では、これまでこの事業は、医療機関、研究機関から発生する低レベル放射性廃棄物を処分する事業であり、私たちの日常生活から発生するものであることから日本全体、日本全体というのは日本の社会、国民全体という意味ですが、日本全体で考えなければならぬ問題であると考えています。

高齢者宅の除雪対策事業を 〈答〉地域ボランティアの組織づくりに努力〉

こうしたことから、町では、事業内容が、もし町のためになるのであれば、誘致を考えたいというところで調査を進めてきています。この事業については、残念ながらまだ国が実施計画を作成中であり、内容が明らかになっていない。内容が明らかになり次第、その内容を町民に説明し、町で判断していきたいというところで説明してきています。

地域福祉計画の策定は

問・町では、地域福祉計画を作成していますか。

答弁・健康福祉課長 地域福祉計画とは、平成十五年から各市町村に対し、策定に努力するようという位置づけです。今現在、鱒ヶ沢町では未策

定の状況にあります。町にはいろいろな計画があります。長期総合計画をはじめとして介護の計画、障害者に関する計画、次世代育成支援計画などがあり、これらの行政計画でカバーしている状況にあります。

問・地域福祉計画は、地域住民に非常に大きな影響を与えるものです。今後策定する予定は。

答弁・健康福祉課長 地域福祉計画は、生活課題の解決に向けた部分に重きが置かれており、思いますので、時期は明確にできませんが、策定に向けて努力していきたいと思っています。

高齢者に対する除雪対策は

問・高齢社会対策基本法でうたっているように社会のシステムが、特に冬

場における高齢社会に適するように見直し、適切なものにする構想を明らかにしてください。

答弁・健康福祉課長 質問の内容を確認したところ雪問題ということですが、除雪の際、玄関先に雪を置いていくということはずっと問題になっていきます。その対応については、担当課でも

苦慮しているところだと思えますが、福祉サイドとしての対応ということでお答えします。

家の前の雪、屋根に積もった雪をどうするかは、地域住民の力なくしてはできないものだと思います。基本は隣近所の助け合いということ、地域ボランティアの組織づくりに努力したいと思っています。

また、社会福祉協議会でも除雪ボランティアを計画しているようですので、連携、協力して多角

的によい仕組みを作りた

いと考えています。意見・ボランティアを作ればすぐにできると考えているようですが、今は、年寄りが多く、ほかの人まで面倒を見ていられないというのが現状です。ボランティアをする若い人もいません。

高齢者のために鱒ヶ沢町ではこのようなことをしているという、一つのモデルとなるような事業を来年あたりから実施するようがんばってください。



今冬は大雪でした。高齢者宅の雪片付けは、雪国の大きな課題となっています。

- ※鶴田議員は、このほかにも次のような質問をしています。
- 避難道の整備について
 - ・ 鳴戸町営住宅の避難道について
 - ・ 中山間地域の側溝、路肩の整備について
 - 施設設備の管理について
 - ・ はまなす公園の噴水、樹木の管理について
 - ・ 川尻の看板（健康標語を書いたもの）の撤去について



齋藤 孝夫議員

JR 駅構内等に観光物産店を 〈答〉 商工会・観光協会と相談し検討

観光スポットへの
アクセスは十分か

問・町内の観光スポット
へのアクセスは、十分な
のかお聞きします。
答弁・産業振興課長

町内の観光スポットへ
のアクセスは、町観光協
会が地元交通事業者と協
力、連携しながらバス、
タクシーなどの運行を実
施しています。他の町村
に比べ、さほどアクセス
は悪くないと思います。



JR 鱒ヶ沢駅。リゾート列車の運行開始以来、
鱒ヶ沢駅で乗降する観光客も多くなっています。

問・駅の周辺に土産売り

場や町をPRするような
案内所があればという話
も聞きます。他町村では、

JRと連携しているいろ
な事業を進めているよう
ですが、我が町はどのよ
うな計画を進めようとし
ていますか。

答弁・産業振興課長

JRとの連携ですが、
JRで発行している旅行
雑誌などに鱒ヶ沢町も
大々的にPR記事を掲載
しています。旅行商品の
開発、駅からハイキング

などの事業についても他

町に負けないようがん
ばっているつもりです。

また、来年度、白神山
地が世界自然遺産登録
二十周年を迎える年であ
り、秋田県の大規模キャン
ペーンも始まる年でもあ
りますので、観光協会、
商工会とも連携を密にし
て取り組んでいきたいと
考えています。

観光案内所は、JR、
観光協会と協議して、駅
の中のスペースを使って
できないかを検討してい
る最中です。物産品の販
売となると駅の中に売店
がありますので、難しい
かもしれませんが、議員
がおっしゃるとおり駅前
に土産品を置いている店
があれば、観光客にも対
応できると思いますので、
周辺の商店や商工会、観
光協会とも相談しながら
検討していきたいと考え

ています。

問・今、観光面で町を売
り出すことは、非常に大
事な時期だと思っています。

駅の構内等に観光物産店
などを作るとなると、や
はり、町のトップとJR
の話になるわけですが、
町長の考えをお知らせく
ださい。

スクールバス運行
に問題はないか

問・スクールバス運行に
ついてお聞きします。統
合して一年が経過し、子
供たちが実際にバスに
乗って、運行上、問題が
ないかどうかお知らせく
ださい。

答弁・教育課長

小学校、中学校合わせ
て十九路線のスクールバ
スの運行を行っています
が、事故もなく、特に問
題はないと思っています。
年度の初めなど学校、バ

行って無駄のない運行に
努めています。

また、夏休み、冬休み

の部活動についても小学
校、中学校と連携を取り
ながら混合乗車の運行が
可能かどうか検討してい
るところです。

財政面ですが、町の持
ち出しのほかに文部科学
省の補助事業、遠距離通
学助成金を活用して、少
しでも町財政の負担軽減
に努めています。

※齋藤孝夫議員は、この
ほかにも次のような質問
をしています。

○高齢者対策について

・高齢者に対する思いや
りネットワークについて
・高齢者の見回りを兼ね
て小売業者が高齢者宅に
注文、配達するシステム
があるが、このシステム
を町でできないか。

○学童保育について

・夏休み、冬休み期間中
に学童保育を実施できな
いか。

○七里長浜港について
・新しい公園の利用計画
は。



長谷川統一議員

各地区公民館の利活用を

〈答〉 町内会の意向を聞き事業を展開

社会教育の

浸透について

問・より良い行政サービ

スを行うためには、限られた予算をどのように組み立てていくかといったことが大事になってくると思います。住民の皆さんに協力していただき、また、単位町内会の皆さんに努力していただき、住民の皆さんでやれるべきものはやっていただく、町内会の中で解決できるものは解決していただくといったことにより予算の配分が楽になるかもしれません。

こういったことを住民の皆さんに理解していただくための手段として社会教育というものがあるのだと思います。

当町の社会教育の重要性並びに方向性をどのよ

うに考えているのか。社会教育事業として計画はどのようになっているのかお聞きします。

答弁・教育課長

町総合計画をもとに住民が自由に学び、生きがい、満ちた生活を目指すとともに、だれでも気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりを進めていきたいと考えています。事業としては、各年代層に応じた各種講座の開設を行い、また、各団体への支援活動を積極的に行っていききたいと考えています。

問・いろいろな講座が行われているという答弁ですが、昔は、職員の方が各町内会に来ていろいろな組織を作るなどの活動をしていたと思います。行政のほうで組織づくりを行っていかないと社会教育というものは、浸透

できないのではないかと考えます。そのことについてどう思われますか。

答弁・教育課長

社会教育だけでは対応できないと思います。地域で抱える問題は、様々です。各地区で抱える課題を出していただいて、教育委員会だけではなく町全体で問題解決に取り組んでいく地域づくりと

は 今後の公民館活動 問・以前は、地区の存在を示す一つとして小学校がありました。小学校単位で連携が取れ、地域内はまとまっていたと思います。しかし、昨年度の学区再編により、地区のシンボリックなものである小学校がなくなつたところがあります。このことにより、各地区間

いうものが必要になってくると思います。

意見・課題を出してもらった受けの体制に問題があると感じます。

住民サービスという点から考えると、攻めの行政として住民のところまで下りていくことが必要だと思っています。ぜひ、そのような骨組みを作りたいと思います。

での子供たちのつながりが徐々に薄くなつていくことに危惧を感じます。そこで、小学校に代わるシンボルとして各地区の公民館を活用することが必要だと思いますが、今後、各地区の公民館活動をどのように考えているのかお聞きします。

答弁・教育課長

今回、赤石、中村、鳴沢公民館が無人数化されました。ただ、地域に住む

方々にその施設を積極的に、自由に活用していただけるようにしたいと考えています。また、地区によって抱える課題は様々ですが、その中で行政として必要な部分は、積極的に地域に入って対応していくつもりです。

問・以前であれば、例えば土曜日に子供たちが公民館に集まれるような環境づくりという要素もあったと思いますが、そのような取り組みがあるのか。併せて地域づくりの観点からも答弁をお願いいたします。

答弁・教育課長

町内会長さんに公民館を自由に使ってくださいと鍵をお渡ししています。大いに利用していただければと思います。

また、町内会でこうい

うことをやりたいのだけれども教育委員会にお願いできませんかという場合には、地域のニーズにこたえた形で積極的にこちらから出向いていきたいと思ひます。

意見・このへんの温度差が、住民と行政の差なのだと思ひます。今、なかなか公民館を利活用できていない状況で、町内会に任せても何も出てこないということも考えられます。

財政難でいろいろな予算が削られている中で、

それでもなお、大人も子供も鰻ヶ沢を愛して、この町で生きていくためには、郷土愛などの思いを根付かせてあげることが必要だと思ひます。そういう方向性を考えていただいて教育行政に取り組んでいただければと思ひます。

※長谷川統一議員は、このほかにも次のような質問をしています。

○子供会活動の推奨について

・子供会活動は不可欠であると思ひますが、現状は子供会の組織が少なくなつてきている。町では今後どのような対策を考えているのか。



一戸千代久議員

空き屋対策条例の制定をすべきでは

〈答 他町村等を参考に検討〉

当町の空き屋対策
は

問・空き家対策について
質問します。

今、全国で空き家が急増しています。放置状態の倒壊した空き家、朽ちた空き家は、風の強い日などは、トタンや廃材が飛ばされて大変危険なものになっていきます。また、ゴミ捨て場や動物のすみかになり、衛生上の問題も発生しています。

こうした中、空き家条例を制定して強制撤去の勧告や命令、行政による代執行ができるようにした自治体も出てきました。

当町の空き家の現況は、どのような状態になっていますか。また、どのような対策をしていますか。

答弁・町民生活課長

平成二十一年の十月に

空き家状況を調査した結果があります。鰯ヶ沢地区で百三十八件、中村地区で三十六件、ただし、これには中村、間木、和開は入っていません。鳴沢地区二十件、赤石地区六十九件、舞戸地区は調査していませんが、合計二百六十三件となっています。

対策ですが、問題となっているのは、崩壊して廃屋となっている空き家だと思えます。現に、町のほうにどうにかならないかという相談も寄せられています。それに対し、町では現地調査をし、登記簿を取って所有者を調べ、その方に助言、指導等を行っています。

問・空き家の問題は、複雑な要素がたくさんありますが、被害の発生しないうちに早急に取り組むべき課題です。

答弁・町民生活課長

当町においても一日も早く空き家対策の条例を制定し、対応するべきではないですか。

答弁・町民生活課長

空き家条例は、空き家の所有者に適正な維持管理を義務付けるとともに自治体が空き家の所有者に必要な措置を勧告できることなどを規定しているものです。全国で三十一の自治体が制定している状況ですが、国においてもまだ法律等を策定しておらず、対策の方針も明確にされていない状況にありますので、今のところ早急に条例を策定する予定はありません。

再質問・空き家といっても個人の財産ですので、きちんとした取り決めがないと手を付けられないと思います。国の法律策定を待っていただければ合いませんので、財政が許

すのであれば解体費用の補助制度を作るなど前向きに条例を作る検討を進めてほしいと思います。どうでしょうか。

答弁・町民生活課長

解体費用の補助については、町の財政等も考えた上で、検討していく必要があります。将来的には、条例の制定が必要だと思えますが、ただ今すぐということにはいかならないと思います。他の町村等も参考にしながら今後進めていきたいと考えています。

答弁・町民生活課長

を少しでも縮めるための方策のようであります。自治体によっては、寄付者に贈り物をするなどの特典を設けているところがあります。当町は苦しい財政事情ですから、はがきで当町の四季を伝えるなど、お金のかわりに特典を考えてみてはどうでしょうか。また、ふるさとを離れた多くの方に制度のお知らせをしてお願いくことも大切なことです。

ふるさと納税の現況と取り組みはどのようになっていますか。

答弁・政策推進課長

ふるさと納税は、鰯ヶ沢町の場合、平成二十年から二十三年の実績として、延べ四十九名、総額で九百七十八万九千円の寄付をいただいています。いただいた方には、回数に応じて記念品をお贈りしています。

取り組みですが、これまで広報あじがさわを通じて町内には周知をしていますし、ホームページ

で町内外、県内外にも周知しています。それから東京方面のPRとして東京鰯ヶ沢会、鰯ヶ沢高校同窓会東京支部などにチラシを配布して寄付していただくようお願いしています。

問・平成二十三年度は、八名です。これでは、少なすぎますからもう少しPRが必要かと思えますが、ふるさと納税拡充のために考えていることはありますか。

答弁・政策推進課長

継続して東京鰯ヶ沢会を中心とした取り組みを行っています。今、東京でふるさと応援団という有志の方々が集まって発足した団体があります。鰯ヶ沢町を何とかいろいろな面で応援しているという方々であります。当町出身者に限らずいろいろな方が名を連ねています。この団体を通じて寄付をしていただくことをお願いしています。

答弁・町民生活課長

答弁・町民生活課長

答弁・町民生活課長

答弁・町民生活課長

新連載

まち再生のために

Vol.1

この人に聞く

町観光協会会長

杉澤 廉晴さん



杉澤 廉晴さん

・町観光協会会長
・ホテルグランメーブル山海荘
代表取締役社長

今月号から特集「まち再生のために～この人に聞く～」を連載します。鱒ヶ沢町再生のために今、何が必要なのか。このテーマのもといろいろな分野の方からお話をお聞きします。一回目は、町観光協会会長の杉澤廉晴さん。聞き手は、鶴田悦子広報委員長、事務局です。

ルート101観光連絡協議会を結成

三町連携事業に着手

Q 杉澤さんは、基本的
にどのようなお考えをお
持ちになって活動されて
いますか。

Q 現在、観光協会では
どのような事業を行って
いますか。

してきましたが、寄港地
のほとんどは往時のにぎ
わいはなく衰退していま
す。連携して当時のよう
な強い都市に向けて努力
していこうと考えていま
す。

状況と聞いていますが。
杉澤会長・2008年の
リーマンショックの影響
は大きかったですね。そ
れから去年の大震災が
あり、うちのほうでも
一万四千人のキャンセル
がありました。しかし、
私共の業種は、固定資産
税とか入湯税など地域の
納税効果という面では、
結構高いものがありま
す。そういう意味では、
地域にないといけない産
業だと思っています。

杉澤会長・観光産業の経
済的効果として、宿泊客
でいうと一日、二十二
名、日帰り客でいうと
七十七名、海外からのお
客様では七名を得たとす
れば、地域の人口を一人
増やしたのと同じ経済効
果があると言われていま
すので、我々旅館業で
は、交流人口を増やすこ
とに努力している状況です。

杉澤会長・各種事業を展
開していますが、平成
二十二年度に当町と深浦
町、秋田県の八峰町の三
町でルート101観光連
絡協議会を作りました。
この三町のエリアで誘
客人口が二百五十万人あ
ります。これは函館の半
分の誘客人口になります
が、三町で連携しながら
魅力ある旅行商品の開発
など、広域的に観光事業
を展開したいと考えてい
ます。

二点目は、日本で初め
て世界自然遺産に登録さ
れた白神山地です。屋久
島、知床、小笠原諸島の
世界自然遺産を持つ地域
と交流を持って誘客につ
なげていきたいと思っ
ています。

Q 最後に、まち再生の
キーポイントは何かをお
聞かせください。
杉澤会長・過去十年間の
情報を整理し、未来十年
間の、こうなりたいとい
う確かなビジョンを持つ
ことだと思っています。
でも、一番は、人との
つながりを大切にするこ
とですかね。

たくさんのお客様に來
ていただければ雇用が増
えます。一人の雇用、一
生の雇用をする場合です
が、その場合、一億円の
地域への財政効果がある
とも言われていますので、
これらのことを考
え、観光協会では、いろ
いろと努力しているとこ
ろです。

Q 今後の事業展開をど
う考えていますか。
杉澤会長・これから観光
協会ですべていかなけれ
ばならないことが三つあ
ります。

Q ホテル経営者として
お話をお伺いしたいので
すが、全国的にも厳しい

鶴田広報委員長・全国各
地いろいろな人との交流
をお持ちになっていいる杉
澤さんらしいお言葉です
ね。今日はどうもありが
とうございました。

一つは、北前船の寄港
地交流です。この前、北
海道の松前、函館と交流

Q ホテル経営者として
お話をお伺いしたいので
すが、全国的にも厳しい

一つは、北前船の寄港
地交流です。この前、北
海道の松前、函館と交流

一つは、北前船の寄港
地交流です。この前、北
海道の松前、函館と交流